

# 人権ネットニュース

## 第33号

2006年11月\*\*日発行

編集発行：

人権資料・展示全国ネットワーク事務局

財団法人水俣病センター 相思社

NPO法人ダッシュ(和泉市立人権文化センター)

徳島県立博物館

柳原銀行記念資料館

### 第11回 人権ネット 総会

びらとりちょうにぶだに

### 北海道平取町二風谷で開催

去る7月13日(木)、14日(金)の両日、北海道・平取町立二風谷アイヌ文化博物館 / 沙流川歴史館において、加盟21団体、30名の参加で第11回人権資料・展示全国ネットワーク総会が行われました。



沙流川歴史館レクチャーホールでの総会

代表の山内政夫さん(柳原銀行記念資料館)の開会あいさつに始まり、平取町長の代理の伊藤義美さんから地元の歓迎あいさつ、ウタリ協会平取支部長の川奈野惣七さんより来賓あいさつがあり、部落解放同盟中央本部からの来賓メッセージが代読されました。

続いて事務局より、(1)第30～32号のニュースの発行、(2)ホームページの開設(<http://e-jinken.net>)、(3)2005年度決算の報告がなされ、全体で承認されました。

協議事項として、

- (1) 事務局から、たかみや人権会館の退局申請。  
(財)福岡県人権啓発情報センターから(財)水俣病センター相思社への交代。
- (2) 市町村合併による碓井町立碓井平和記念館の退会申請。
- (3) 2006年度予算案について。
- (4) 次回の総会開催地の検討。
- (5) 2006年度の事業案について。
  - ・ニュースの発行。
  - ・ホームページ運営。
  - ・メーリングリストの運用。

が検討されました。

全ての事項が全体で承認され、次回の総会開催地については立候補地・推薦地がなかったので、大阪府内での開催とし、候補地は事務局で打診・検討して決定するというところで承認されました。



代表の山内政夫さん



沙流川歴史館

## 交流フォーラム「アイヌ民族の歴史・文化と人権」



貝澤耕一さん



萱野志朗さん



多原良子さん

13日(木)午後3時より、同じく沙流川歴史館で交流フォーラム「アイヌ民族の歴史・文化と人権」が行われました。

講師として、平取アイヌ文化保存会事務局長の貝澤耕一さんからは「アイヌ民族の文化と人権」、かやのしげる萱野茂二風谷アイヌ資料館長の萱野志朗さんからは「アイヌ語をめぐる状況と日本国の言語政策」、札幌市ウタリ生活相談員の多原良子さんからは「複合差別と都市域アイヌの暮らし」についての報告・提言がありました。

活発な質疑応答・補足もあり、参加者は日本の先住民族としてのアイヌ民族の歴史と文化・生活を守る大切さ、高齢者が増加して後継者が少ないという、現在置かれている状況・課題などについての理解を深めました。

その時の様子は、翌日朝の北海道新聞の社会面で、写真入で紹介されました。

その後、二風谷ファミリーランドで情報交換会を行いました。



沙流川歴史館レクチャーホールでのフォーラム

## 萱野茂二風谷アイヌ資料館/平取町立二風谷アイヌ文化博物館 他見学



萱野茂二風谷アイヌ資料館



館内の説明をする萱野志朗さん



平取町立二風谷アイヌ文化博物館



館内の説明をする吉原秀喜さん



総会総括

翌朝 14日(金)午前9時より、各施設の見学を行いました。

「萱野茂二風谷アイヌ資料館」では、設立者で初代館長の萱野茂さんが収集・製作した貴重なアイヌ民族の衣装・道具 600点以上をはじめ、萱野茂さん自らが世界各地をまわって集めた様々な民族の衣装・面・道具・絵画など 600点以上の資料を、現館長・萱野志朗さんの案内で見学しました。

「平取町立二風谷アイヌ文化博物館」では、太古からのアイヌ民族の歴史と、四季の移り変わりと共に変化していく食材、自然と一体化したアイヌ民族の生活と、素朴だが自然を大切にして効率的なアイヌ民族の道具や民族衣装などを見学しました。

「二風谷工芸センター」では、伝統工芸品やみやげ物の見学・購入を行いました。

最後に、「平取町立二風谷アイヌ文化博物館」視聴覚室で総会総括を行い、総会を終りました。

## 丹波マンガン記念館が京都「ヒューマンかざぐるま賞」を受賞

本年3月、人権ネットの加盟団体である「丹波マンガン記念館」が、「財団法人 京都オムロン地域協力基金」より、平成18年度京都ヒューマン賞「第17回ヒューマンかざぐるま賞」を受賞したと、総会で「丹波マンガン記念館」館長・李龍植<sup>りりょんく</sup>さんから報告がありました。



木代喜司さん作のブロンズ像(光)



ブロンズ像と李龍植さん

選考理由は、「地域の社会福祉」の分野で、「強制連行されてきた多くの朝鮮人・中国人や被差別部落出身者が鉱山労働者として働いてきた歴史の事実と、初代館長自らも鉱山夫としてどう生きてきたかの記録を残そうとする展示施設は全国でも珍しく、グローバル的な人権を考えさせる施設の活動だから」ということです。

賞金として100万円、副賞として、京都教育大学名誉教授・日展審査員の木代喜司さん作のブロンズ像(光)が贈呈されたということです。

### ■事務局より

本年も「人権資料・展示全国ネットワーク」の年会費の払い込みの案内を送らせて頂きます。円滑な手続きが行えますよう、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

### 人権資料・展示全国ネットワーク ホームページ

<http://e-jinken.net>

管理は事務局の柳原銀行記念資料館で行っています。

修正・変更などは、柳原銀行記念資料館 (Tel./Fax.075-371-0295、e-mail: yanagin@mbox.kyoto-inet.or.jp) の担当・稲野までお願いいたします。

(編集担当：柳原銀行記念資料館)